



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月5日

上場会社名 加賀電子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8154 URL https://www.taxan.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 門 良一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 川村 英治 TEL 03-5657-0111
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	188,859	△18.1	4,434	△15.4	4,338	△21.8	10,772	207.5
2020年3月期第2四半期	230,630	99.9	5,239	38.9	5,546	37.0	3,502	27.4

（注）包括利益 2021年3月期第2四半期 11,011百万円（351.9%） 2020年3月期第2四半期 2,436百万円（△29.7%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	392.30	—
2020年3月期第2四半期	127.62	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	209,908	96,163	42.1
2020年3月期	207,638	86,250	37.7

（参考）自己資本 2021年3月期第2四半期 88,271百万円 2020年3月期 78,284百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00
2021年3月期	—	30.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2020年3月期 期末配当金の内訳 普通配当30円00銭 特別配当 10円00銭

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	410,000	△7.6	7,500	△25.1	7,500	△26.0	10,000	70.9	364.18

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2020年11月5日）公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 2社 株式会社エクセル、先進顯示科技（香港）有限公司
（注）詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	28,702,118株	2020年3月期	28,702,118株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,243,638株	2020年3月期	1,243,279株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	27,458,682株	2020年3月期2Q	27,447,183株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2020年11月26日（木）に機関投資家およびアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。なお、決算説明補足資料につきましては本日（2020年11月5日（木））、当社ウェブサイトに掲載いたします。なお、決算説明会内容（動画）については、当日使用する決算説明資料とともに、11月26日（木）に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

（和文）https://www.taxan.co.jp/jp/ir/event/event_01.html

（英文）https://www.taxan.co.jp/en/ir/event/event_01.html

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く内外の事業環境は、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大にともなう各国でのロックダウンなどにより、製造業では一部工場が稼働停止を余儀なくされるなど企業活動の停滞による影響がありました。一方、当社グループ内においては、情報機器事業はコロナ禍を機会としてリモートワークなどのPC需要が大きく伸びました。また、電子部品事業では、2020年4月より株式会社エクセル（以下、「エクセル」）が新たにグループ会社化されましたが、富士通エレクトロニクス株式会社（以下、「富士通エレクトロニクス」）の大口取引先との販売代理店契約解消によって売上が大きく減少しました。

これらの結果、当期間における当社グループの売上高は1,888億59百万円（前年同四半期比18.1%減）となりました。

利益面では、売上高の減少にともなう売上総利益の減少を補うべく、リモートワークやオンライン会議の積極活用などによる業務効率化を推進して販売費及び一般管理費の削減に努めた結果、営業利益は44億34百万円（前年同四半期比15.4%減）、経常利益は43億38百万円（前年同四半期比21.8%減）となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益はエクセル買収にともなう「負のれん発生益（79億63百万円）」を特別利益として計上したことなどにより、前年同四半期を大きく上回る107億72百万円（前年同四半期比207.5%増）となりました。

	前第2四半期 連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	増減	
	百万円	百万円	百万円	
売上高	230,630	188,859	△41,771	△18.1%
売上総利益 (利益率)	23,771 10.3%	21,641 11.5%	△2,129 1.2pt	△9.0% -
販売費及び一般管理費	18,531	17,206	△1,324	△7.1%
営業利益	5,239	4,434	△805	△15.4%
経常利益	5,546	4,338	△1,207	△21.8%
税金等調整前四半期純利益	5,302	12,126	6,823	128.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,502	10,772	7,269	207.5%
為替レート（期中平均） USドル	108円63銭	106円92銭	△1円71銭	-

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①電子部品事業（半導体、一般電子部品、EMS（注）などの開発・製造・販売など）

当事業では、部品販売ビジネスは、本年4月よりエクセルを当社のグループ会社としたことによる増収効果がありましたが、昨年10月に富士通エレクトロニクスの大口取引先であった米国Cypress社から販売代理店契約を解消されたことで売上を大きく落としました。EMSビジネスは医療向けが堅調に推移したものの、コロナ感染拡大にともなう各国のロックダウンなどにより当社および顧客の海外生産拠点において一部操業休止や生産調整の影響を強く受け、主として車載向けや空調向けが低調に推移しました。

これらの結果、売上高は1,568億87百万円（前年同四半期比21.5%減）、セグメント利益は30億83百万円（前年同四半期比27.3%減）となりました。

（注）Electronics Manufacturing Serviceの略語。製品の開発・生産を受託するサービス。

②情報機器事業（パソコン、PC周辺機器、各種家電、写真・映像関連商品およびオリジナルブランド商品などの販売など）

当事業では、住宅向け家電販売ビジネスは、販売先の納期調整の影響などにより低調となりましたが、コロナ禍の中でリモートワークやオンライン授業が増加したことによりパソコンおよびPC周辺機器の販売が好調に推移しました。

これらの結果、売上高は231億92百万円（前年同四半期比16.1%増）となり、セグメント利益は11億60百万円（前年同四半期比87.8%増）となりました。

③ソフトウェア事業（CG映像制作、アミューズメント関連商品の企画・開発など）

当事業では、CGアニメーション制作やゲームソフトの開発などにおいて、いわゆる“巣ごもり需要”の拡大にともなう受注案件の増加や顧客からの前倒し発注などにより堅調に推移しました。

これらの結果、売上高は12億74百万円（前年同四半期比4.3%減）となりましたが、セグメント利益は86百万円（前年同四半期比84.0%増）となりました。

④その他事業（エレクトロニクス機器の修理・サポート、アミューズメント機器の製造・販売、スポーツ用品の販売など）

当事業では、パソコンおよびPC周辺機器のリサイクルビジネスは堅調に推移しましたが、アミューズメント業界向けゲーム機器やゴルフ用品販売は行政からの自粛要請にともない長期間にわたった店舗休業の影響を受け、低調に推移しました。

これらの結果、売上高は75億5百万円（前年同四半期比21.1%減）となり、セグメント利益は36百万円（前年同四半期比86.1%減）となりました。

		前第2四半期 連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	増減	
		百万円	百万円	百万円	
電子部品事業	売上高	199,818	156,887	△42,931	△21.5%
	セグメント利益	4,238	3,083	△1,155	△27.3%
情報機器事業	売上高	19,968	23,192	3,223	16.1%
	セグメント利益	618	1,160	542	87.8%
ソフトウェア事業	売上高	1,332	1,274	△57	△4.3%
	セグメント利益	46	86	39	84.0%
その他事業	売上高	9,510	7,505	△2,005	△21.1%
	セグメント利益	259	36	△223	△86.1%
合計	売上高	230,630	188,859	△41,771	△18.1%
	セグメント利益	5,239	4,434	△805	△15.4%

(注)「セグメント利益」については、各セグメントでは調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値で記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,099億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億70百万円の増加となりました。

流動資産は1,723億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億55百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が78億30百万円減少し、商品及び製品が53億69百万円増加したことによるものであります。

固定資産は375億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ42億26百万円の増加となりました。これは主に新基幹システムの構築などにともないソフトウェアが5億65百万円、投資有価証券が20億62百万円、繰延税金資産が4億43百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は1,137億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ76億43百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が155億82百万円減少し、短期借入金が105億1百万円増加したことによるものであります。

純資産は961億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ99億13百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益107億72百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物の期末残高は、315億88百万円と前連結会計年度末に比べ111億5百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、70億17百万円の支出（前年同期は122億42百万円の収入）となりました。これは主に、売上債権の減少以上に仕入債務が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、29億96百万円の支出（前年同期は18億99百万円の支出）となりました。これは主に、定期預金の預入によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、8億55百万円の支出（前年同期は7億46百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、当第2四半期累計期間における業績進捗ならびに今後の見通しを踏まえて、本日公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」とおり、2021年3月期連結業績予想を修正いたしました。詳細は下記のとおりであります。

①2021年3月期 通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	400,000	5,000	4,500	10,000	364.18
今回修正予想（B）	410,000	7,500	7,500	10,000	364.18
増減額（B）－（A）	10,000	2,500	3,000	－	－
増減率（％）	2.5	50.0	66.7	－	－
（ご参考）前期実績 （2020年3月期）	443,615	10,014	10,137	5,852	213.21

②業績予想の理由

2021年3月期第2四半期は、電子部品事業において一部取引先との大口商権解消にともない前年比で大幅な減収となる状況に変わりはないものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響については、一部の製造業では回復の兆しが徐々に見えはじめ、また、情報機器事業ではリモートワークやオンライン授業向けの需要増によりPC製品の販売好調が持続、加えて、営業活動の一部自粛にともなう販売費及び一般管理費の縮減などもあり、売上高、利益とも社内計画に対して上振れで推移しました。

このような状況を踏まえ、通期業績予想につきましては、本年8月6日公表の業績予想値に対して、売上高は100億円増収の4,100億円、営業利益は25億円増益の75億円、経常利益は30億円増益の75億円にそれぞれ修正しました。一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、新型コロナウイルス感染症の収束が不透明な中、今後の事業環境における影響などを慎重にみて、現時点では前回予想値を据え置きました。

（注）上記の業績予想につきましては、当社が公表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,384	35,554
受取手形及び売掛金	85,495	87,654
電子記録債権	5,876	4,209
有価証券	254	326
商品及び製品	25,276	30,646
仕掛品	567	1,108
原材料及び貯蔵品	6,063	5,974
その他	7,601	7,174
貸倒引当金	△188	△272
流動資産合計	174,331	172,376
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,365	7,518
機械装置及び運搬具(純額)	4,477	4,858
工具、器具及び備品(純額)	1,060	1,596
土地	4,924	4,924
建設仮勘定	145	17
有形固定資産合計	17,974	18,915
無形固定資産		
のれん	322	265
ソフトウェア	1,743	2,309
その他	190	85
無形固定資産合計	2,256	2,660
投資その他の資産		
投資有価証券	8,502	10,564
繰延税金資産	1,584	2,027
差入保証金	857	984
保険積立金	894	970
その他	1,791	1,983
貸倒引当金	△552	△572
投資その他の資産合計	13,075	15,957
固定資産合計	33,306	37,532
資産合計	207,638	209,908

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	70,188	54,605
短期借入金	6,540	17,041
未払費用	5,739	5,030
未払法人税等	1,884	1,134
役員賞与引当金	101	17
その他	9,201	7,800
流動負債合計	93,655	85,631
固定負債		
長期借入金	20,833	20,179
繰延税金負債	1,378	1,596
役員退職慰労引当金	95	99
退職給付に係る負債	1,969	2,232
資産除去債務	329	355
その他	3,127	3,651
固定負債合計	27,732	28,114
負債合計	121,388	113,745
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,133	12,133
資本剰余金	13,878	13,878
利益剰余金	55,091	64,764
自己株式	△2,005	△2,006
株主資本合計	79,097	88,770
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	997
繰延ヘッジ損益	28	0
為替換算調整勘定	△707	△1,376
退職給付に係る調整累計額	△133	△119
その他の包括利益累計額合計	△812	△498
非支配株主持分	7,965	7,891
純資産合計	86,250	96,163
負債純資産合計	207,638	209,908

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	230,630	188,859
売上原価	206,859	167,218
売上総利益	23,771	21,641
販売費及び一般管理費	18,531	17,206
営業利益	5,239	4,434
営業外収益		
受取利息	117	62
受取配当金	126	132
受取手数料	147	86
為替差益	137	—
その他	212	352
営業外収益合計	740	634
営業外費用		
支払利息	156	156
持分法による投資損失	216	284
為替差損	—	256
その他	61	32
営業外費用合計	434	730
経常利益	5,546	4,338
特別利益		
固定資産売却益	17	1
投資有価証券売却益	29	39
負ののれん発生益	—	7,963
事業譲渡益	12	7
受取和解金	498	—
その他	1	11
特別利益合計	559	8,023
特別損失		
固定資産除却損	3	15
投資有価証券売却損	13	—
投資有価証券評価損	536	163
減損損失	245	—
その他	4	56
特別損失合計	803	235
税金等調整前四半期純利益	5,302	12,126
法人税、住民税及び事業税	1,135	1,107
法人税等調整額	317	317
法人税等合計	1,453	1,424
四半期純利益	3,848	10,701
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,502	10,772
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	346	△70
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△423	994
繰延ヘッジ損益	19	△28
為替換算調整勘定	△986	△727
退職給付に係る調整額	21	13
持分法適用会社に対する持分相当額	△42	57
その他の包括利益合計	△1,411	309
四半期包括利益	2,436	11,011
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,243	11,085
非支配株主に係る四半期包括利益	193	△73

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,302	12,126
減価償却費	1,284	1,505
減損損失	245	—
のれん償却額	42	56
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6	4
貸倒引当金の増減額(△は減少)	29	15
受取利息及び受取配当金	△243	△363
支払利息	156	156
持分法による投資損益(△は益)	216	284
投資有価証券売却損益(△は益)	△15	△39
投資有価証券評価損益(△は益)	536	163
負ののれん発生益	—	△7,963
売上債権の増減額(△は増加)	2,979	10,547
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,784	1,835
未収入金の増減額(△は増加)	△497	1,607
前渡金の増減額(△は増加)	△1,460	△393
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,095	△21,540
未払費用の増減額(△は減少)	△269	△993
未収消費税等の増減額(△は増加)	802	285
その他の流動資産の増減額(△は増加)	66	24
その他の流動負債の増減額(△は減少)	1,201	△2,298
その他	△159	△265
小計	12,913	△5,242
利息及び配当金の受取額	253	203
利息の支払額	△164	△163
法人税等の支払額	△633	△1,814
その他	△126	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,242	△7,017
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△517	△3,289
定期預金の払戻による収入	1,507	390
有形固定資産の取得による支出	△1,695	△1,290
有形固定資産の売却による収入	181	15
無形固定資産の取得による支出	△244	△691
投資有価証券の取得による支出	△922	△851
投資有価証券の売却による収入	299	204
短期貸付けによる支出	△550	△140
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	2,707
保険積立金の解約による収入	52	6
差入保証金の差入による支出	△26	△22
差入保証金の回収による収入	30	9
その他の支出	△53	△50
その他の収入	39	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,899	△2,996
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,165	1,166
長期借入れによる収入	161	—
長期借入金の返済による支出	△639	△639
配当金の支払額	△1,233	△1,088
その他	△201	△293
財務活動によるキャッシュ・フロー	△746	△855
現金及び現金同等物に係る換算差額	△638	△236
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,957	△11,105
現金及び現金同等物の期首残高	32,231	42,693
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,189	31,588

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）

2020年4月1日付をもって、当社グループの成長戦略の一環として、当社が株式会社エクセルの株式を100%取得し、子会社化しました。これにともない、擘華企業股份有限公司、卓華電子（香港）有限公司、卓英国際貿易（上海）有限公司、EXCEL SINGAPORE PTE LTD.、卓英電子貿易（深圳）有限公司、ADVANCED DISPLAY SOLUTIONS 株式会社、先進顯示科技（香港）有限公司、EXCEL ELECTRONICS TRADING (THAILAND) CO., LTD.、アルファバスジャパン株式会社が間接所有子会社となりました。

なお、株式会社エクセルおよび先進顯示科技（香港）有限公司は、それぞれその資本金の額が当社の資本金の額の100分の10を超えるため、特定子会社に該当しております。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症拡大にともなう会計上の見積りについて）

固定資産の減損および繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りにつきましては、当第2四半期連結会計期間末日現在で入手可能な情報に基づき実施しており、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した内容から重要な変更はありません。新型コロナウイルス感染症拡大の影響は当連結会計年度末日まで継続し、来期以降は緩やかに回復すると仮定して見積りを行っておりますが、過去に例を見ない新型コロナウイルス感染症拡大の影響は不確実な部分があるため、事後的な結果との間に乖離が生じる可能性があります。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	199,818	19,968	1,332	9,510	230,630	—	230,630
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,280	428	298	1,659	3,667	△3,667	—
計	201,099	20,396	1,631	11,170	234,298	△3,667	230,630
セグメント利益	4,238	618	46	259	5,163	76	5,239

(注)1. セグメント利益の調整額76百万円には、セグメント間取引消去76百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	156,887	23,192	1,274	7,505	188,859	—	188,859
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,280	2,569	513	2,030	6,394	△6,394	—
計	158,167	25,761	1,788	9,536	195,254	△6,394	188,859
セグメント利益	3,083	1,160	86	36	4,366	68	4,434

(注)1. セグメント利益の調整額68百万円には、セグメント間取引消去68百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。